

総会・各種授賞式・受賞講演

総会では、日本癌学会理事会ならびに評議員会において検討・承認された下記の如き事項等が報告される予定です。
なお、総会の大部分の時間はJCA-Mauvernay Award、JCA-CHAAO賞、JCA International Award、日本癌学会奨励賞、Cancer Science Young Scientists Awardの授賞式、吉田富三賞・長與又郎賞の授賞式と受賞講演にあてます。

総会報告事項

- 1) 理事長挨拶
 - 2) 庶務報告
 - i) 人事ならびに一般事項
 - ii) 理事選挙結果
 - iii) 日米癌学会合同会議
 - iv) 日本癌学会シンポジウム、カンファレンスおよび市民公開講座開催など
 - v) 2019年度第78回学術総会会長
 - vi) 新監事
 - vii) 新名誉会員
 - viii) 新評議員
 - ix) 吉田賞、長與賞、JCA-Mauvernay Award、JCA-CHAAO賞、JCA International Award、日本癌学会奨励賞、Cancer Science Young Scientists Award受賞者
 - x) その他
 - 3) 本学術総会の運営
 - 4) 編集報告
 - 5) 2017年度第76回学術総会会長
-

次期学術会長挨拶

学術会長：中釜 齊
会 期：2017年9月28日（木）～30日（土）
会 場：パシフィコ横浜

受賞講演

吉田富三賞受賞講演	10月8日（土）12:50-14:30	第1会場
長與又郎賞受賞講演	10月8日（土）12:50-14:30	第1会場
JCA-モヴェルネ賞受賞講演（基礎）	10月8日（土）8:00- 8:50	第13会場
JCA-モヴェルネ賞受賞講演（臨床）	10月7日（金）8:00- 8:50	第13会場
日本癌学会奨励賞受賞講演	10月8日（土）9:00-10:30	第5会場
ヤングサイエンティストアワード受賞講演	10月8日（土）10:30-11:30	第5会場

吉田富三賞

Oct. 8 (Sat.),
12:50-14:30
Room 1

吉田富三顕彰会（福島県浅川町）と日本癌学会は偉大ながん研究者 吉田富三博士を記念して吉田富三賞を設け、優れたがん研究者に授与してその功績を表彰し、もってがん研究の一層の振興を図るものとする。

2016年度 受賞者**秋山 徹**

東京大学分子細胞生物学研究所
教授

細胞がん化に必須な遺伝子群の機能の解明**受賞理由**

秋山徹博士は、EGF受容体ファミリーのもつチロシンキナーゼ活性が細胞がん化に必須の役割を果たしていることを明らかにし、がんの分子標的薬開発への道を示した。また、Wnt/APCシグナルを制御する因子としてAsef、Axinなどを同定してその機能を解明し、がん化における重要性を分子・細胞・個体レベルで示した。さらに、がん細胞の造腫瘍性に必須な遺伝子群を網羅的に検索し、長鎖非コードRNAを含む重要な標的分子を見出し、新たな創薬への可能性を開いた。

長與又郎賞

Oct. 8 (Sat.),
12:50-14:30
Room 1

日本癌学会の創設者にして偉大ながん研究者 長與又郎博士を記念して、日本癌学会に長與又郎賞を設立する。長與又郎賞は、原則としてがんの臨床ならびに社会医学に関連する優れた業績を挙げた研究者の功績を讃えるものとする。

2016年度 受賞者**佐藤 昇志**

札幌医科大学
名誉教授

ヒトがん免疫制御の基盤的研究**受賞理由**

佐藤昇志博士は永年に亘り種々の方法論を駆使して60種以上のヒト腫瘍特異抗原を同定した。その多くは既に臨床試験に入っている。これらの先駆的かつ独創的研究を通じて、種々の問題点を指摘し、がん免疫機序の解析、研究手法を開発し、この方面の研究に益すること極めて大であった。佐藤博士自身は、既に種々のがんペプチドワクチン、ヒトがん幹細胞ワクチンなどを開発し、その効果を増強する機構を発見し、ヒトがん免疫治療の実用化に貢献している。

JCA-Mauvernay Award

がんの研究において、基礎および臨床分野で優れた成果を挙げた日本の研究者を認知し、その研究成果を世界の他の地域にも提供するべく、研究者を奨励することを目的に、日本癌学会とDebiopharm社は、JCA-Mauvernay Awardを創設した。

2016年度 受賞者**Basic research****中川 英刀**

理化学研究所
統合生命医科学研究センター
チームリーダー

研究課題名

Cancer genomics for molecular diagnosis and treatment: genome sequencing and genome-wide association study

シークエンス、GWASによるがんゲノム解析・診断

Applied research**清宮 啓之**

公益財団法人がん研究会
がん化学療法センター
分子生物治療研究部 部長

研究課題名

Telomere maintenance system as an anticancer therapeutic target

がん治療標的としてのテロメア維持機構

Oct. 8 (Sat.),
8:00-8:50
Room 13

Oct. 7 (Fri.),
8:00-8:50
Room 13

JCA-CHAAO賞 新たな抗がん剤・治療法に関わる研究・開発を行い、日本のがん医療の発展に多大に貢献する成果物（POCまでの活動・新薬・機器を含む）を創出した個人またはグループの功績を讃え、がん研究の一層の振興を図ることを目的とする。

2016年度 受賞者

平岡 真寛（日本赤十字社和歌山医療センター 院長）
小久保雅樹（神戸市立医療センター中央市民病院放射線治療科 部長）
高山 賢二（京都大学大学院医学研究科放射線腫瘍学・画像応用治療学 助教）
中村 光宏（京都大学大学院医学研究科放射線腫瘍学・画像応用治療学 特定講師）
松尾 幸憲（京都大学大学院医学研究科放射線腫瘍学・画像応用治療学 講師）
溝脇 尚志（京都大学大学院医学研究科放射線腫瘍学・画像応用治療学 准教授）
宮部 結城（京都大学大学院医学研究科放射線腫瘍学・画像応用治療学 特定講師）

研究課題名「リアルタイムモニタリング動体追尾放射線治療の開発」
Development of tumor tracking radiotherapy under real-time monitoring

**JCA
International
Award**

JCA International Awardは、日本癌学会国際化の取り組みの一環であるInternational Sessionsへの積極的な参加をはじめ、日本癌学会への貢献が顕著な海外在住（原則としてアジア・オセアニア在住）の外国人研究者を讃えることを目的とする。

2016年度 受賞者

Patrick Tan Professor, Cancer & Stem Cell Biology Programme, Duke-NUS Medical School
研究課題名
Genomic and epigenomic analyses of gastric cancer

日本癌学会奨励賞

Oct. 8 (Sat.),
9:00-10:30
Room 5

日本癌学会奨励賞は本会員のうち、がん研究の進歩に寄与すること顕著なる研究を発表し、なお将来の発展を期待しえるもの（40歳未満）に対し授与する。ただし、受賞対象とする研究の主要なる部分が国内で行われたものに限る。

2016年度 受賞者

基礎


受賞者氏名	所属機関 職	研究課題名
片岡 圭亮	京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学講座 特定助教	網羅的遺伝子解析による成人T細胞白血病リンパ腫の病態解明
鈴木 啓道	トロント小児病院 リサーチフェロー	Grade II/III神経膠腫における遺伝子異常の全貌と腫瘍内多様性の解明
園下 将大	京都大学大学院医学研究科 システム神経薬理学 准教授	大腸がん悪性化機序と予後診断法・治療薬の研究
藤本 明洋	京都大学大学院医学研究科創薬医学講座 特定准教授	全ゲノムシーケンス解析手法の開発と肝がんの全ゲノムシーケンス解析
前川 滋克	東京大学医学部泌尿器科 助教	副腎性クッシング症候群における遺伝子異常の解明
安田 貴彦	名古屋医療センター生体情報解析室 室長	思春期・若年成人急性リンパ性白血病における 新規融合型がん遺伝子DUX4-IGHの発見
山口 知也	名古屋大学大学院医学系研究科 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター 分子腫瘍学分野 特任助教	ROR1による肺腺癌のリネジ特異的生存シグナル伝達機構の解明
吉里 哲一	京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学講座 日本学術振興会特別研究員	後天性再生不良性貧血におけるクローン構造の解明

臨床

受賞者氏名	所属機関 職	研究課題名
永井 純正	東京大学医科学研究所先端医療研究センター 遺伝子治療開発分野 講師	抗癌剤及びコンパニオン診断薬の薬事規制に関する国際比較
日暮 琢磨	横浜市立大学附属病院内視鏡センター 横浜市立大学 肝胆膵消化器病学 助教	メトホルミンによる大腸腫瘍の化学予防

**Cancer Science
Young Scientists
Award**

日本癌学会とWiley-Blackwell社は2007年にCancer Science Young Scientists Award を創設した。本賞は、アジア地域の若手研究者による先駆的ながん研究を発掘するために設立されたものである。

 Oct. 8 (Sat.),
10:30-11:30
Room 5

2016年度 受賞者

Sovannarith Korm

Graduate School of Analytical Science and Technology (GRAST), Chungnam National University, Korea

Research topics involved

RAP80 regulates epithelial-mesenchymal transition related with metastasis and malignancy of cancer

Kota Ouchi

Department of Clinical Oncology, Institute of Development, Aging and Cancer, Tohoku University, Japan

Research topics involved

DNA methylation status as a biomarker of anti-epidermal growth factor receptor treatment for metastatic colorectal cancer

Azusa Yamato

Department of Respiratory Medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Japan

Research topics involved

Oncogenic activity of BIRC2 and BIRC3 mutants independent of nuclear factor- κ B-activating potential

Jianxuan Zou

The Cyrus Tang Hematology Center, Soochow University, China

Research topics involved

Immunotherapy based on bispecific T-cell engager with IgG1 Fc sequence as a new therapeutic strategy in multiple myeloma